

「生きる力」をはぐくむ評価のあり方

I 主題設定の理由

変化の激しい実社会を主体的に力強く生きていく力を培うという観点から、子ども達に求められる力が、『生きる力』（確かな学力、豊かな人間性、健康・体力）であるとされてから十数年が経過し、その考え方は修正を加えながら現在に至っている。新たに実施されている学習指導要領においても、「児童に生きる力をはぐくむことをめざし、創意工夫した特色ある教育活動を展開する中で、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力をはぐくむとともに、主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かす教育の充実に努めなければならない」との考えが示されている。また、「児童の良い点や進歩の状況などを積極的に評価するとともに、指導の過程や成果を評価し指導の改善を行い学習意欲の向上に生かすようにすること」と評価についての考えが示され、『生きる力』を育成することとその評価の重要性を謳っている。

本部会ではこれまで、子どもたちに『生きる力』をはぐくむため、子どもの学ぶ意欲や学びの過程、学びあう人間関係づくりを大切に、社会に出て生きる力につながる『ゆたかな学び』を保障していくことに焦点を当て教育研究活動を進めてきた。子ども一人ひとりの『ゆたかな学び』を保障するためには、各学校における児童・生徒や地域の実態に応じた教育課程の編成・実施や、それに伴う指導法の工夫、指導の振り返り改善、適切な評価と支援など、様々な重要な要素が考えられるが、4年前（2009年度）からは、日常行っている評価を見直し、児童の学び・変容を丁寧に見取り、具体的・積極的な評価を行うことで次の学習活動への意欲を高め、確かな学力の定着をいっそう図りながら『ゆたかな学び』を保障していきたいという考えにたち研究を進めてきている。

II 研究の内容

1 研究の方向性

2009年度は、国語科において単元を通して一枚ポートフォリオを用い、読み取りの深まりや気持ちの変化を見取っていった。そして、2010年度は、道徳の授業を通じて研究を行い、学習前・学習後において、児童の道徳的価値の高まりや心の変化を見取ることができた。2011年度は一枚ポートフォリオ評価法に焦点を当てた3年目として、作成・活用の仕方をさらに研究しながら、生活科や社会科の授業を通じて検証を行った。その結果、表現する力が伸びたり、理解が深まったりすることを見取ることができた。また、これまでの研究の中で、児童自身が読んで自分の変化を知ることができることから、児童・教師にとって、意欲を高め心の成長を認められる有効な手だてであるという成果が得られた。

そこで今年度は、昨年度までの国語科、道徳、生活科、社会科からさらに教科を広げて算数科や理科で研究を進めていくこととした。

2 研究授業

算数科 第5学年「整数をなかま分けしよう」

理科 第3学年「じしゃくにつけよう」

Ⅲ 成果と課題

1 成果

- ・今年度、算数科や理科の一枚ポートフォリオについて研究できたことにより、昨年度までの研究と併せて、教科を網羅した一枚ポートフォリオの活用方法について一定の方向性を見いだすことができた。
- ・一枚ポートフォリオを授業で活用していくために、「何を見取り」、「何を評価する」のかを考えたポートフォリオを作成できてよかった。
- ・一枚ポートフォリオから児童の考えを見取り、変化を見ていくことで児童理解を深めることができた。また、それをもとに次の指導を考えることができた。
- ・一枚ポートフォリオに書くことで、自己を振り返ったり、友だちとの交流で改めて自分を知ったりすることで、自己肯定感を高められた児童もいた。
- ・算数科や理科の研究授業から、一枚ポートフォリオが児童の意欲を高めたり、思考を深めたりすることが検証できた。
- ・ポートフォリオに書く教師のコメントは、児童も楽しみにしており、有効であった。

2 課題

- ・児童が書いたポートフォリオを分析するときの指標のようなものを考えていきたい。
- ・ポートフォリオによりつかんだ児童の実態から、さらに児童に寄り添った支援や実践ができると思う。
- ・PDCAのAにどのようにつなげるか、1単元の中でサイクルを繰り返すような研究をしてもよいと思う。
- ・教科によるポートフォリオの違いについて、研究をしていくのもよいと思う。

3 今年度の研究で確認できた一枚ポートフォリオの目的

1) 児童と教師の視点から

- ① 1枚の紙面に、学習前・学習中・学習後が書かれるので、見やすい。
- ② 書かれた学習履歴によって、児童の考え、思い、意欲が見えてくる。

2) 児童の視点から

- ① 自分の予想、考え、履歴などを振り返り、知識や考えを深めることができる。
- ② 1枚のシートのなかで、学習による変容を確認したり、学習することの意味（学習してできるようになった、わかった、大切だ）を感じたりできる。

3) 教師の視点から

- ① 児童の既存の知識や考えを把握することができる。
- ② 学習履歴の記録内容から、次の指導の改善に活かすことができる。
- ③ 学習履歴から児童の学習評価や教師の授業評価に役立てることができる。

(部長 高野 恵美子)